

平成28年度病害虫発生予報第12号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

【予報の概要】

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
麦 類	うどんこ病	並	並
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 菌核病 灰色かび病 ミナミキイロアザミウマ(防除情報第17号) コナジラミ類	並 やや少 少 並 やや少 やや多 並	並 やや少 少 並 やや少 多 並
トマト	黄化葉巻病 灰色かび病 コナジラミ類	やや少 並 並	やや少 並 並
いちご (本圃)	うどんこ病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダニ類(注意報第6号継続)	並 並 並 多	並 並 並 多
たまねぎ	白色疫病 べと病(注意報第7号継続) ネギアザミウマ	並 やや多 少	並 多 少
かんきつ	そうか病 かいよう病 ミカンハダニ	やや多 (越冬病斑) やや少 (越冬病斑) やや少	やや多 やや少 やや少
果樹共通	クワゴマダラヒトリ	やや少	やや少
茶	カンザワハダニ	やや少	やや少

【発生予報】 本文の()内は平年値

麦 類

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 3月上旬の巡回調査(大麦9筆、小麦15筆)の結果、発生を認めなかった

(発生を認めない)

イ 3月3半旬の県予察圃場（無防除、諫早市）調査の結果、発生を認めなかった（発生を認めない）。

きゅうり

1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査（12筆）の結果、発病葉率は5.8%（5.1%）、発生圃場率は25.0%（35.4%）であった。

2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査（12筆）の結果、発病葉率は4.8%（8.6%）、発生圃場率は75.0%（65.3%）であった。

3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（発病葉率4.1%、発生圃場率29.2%）。

4. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（発病果率0.0%、発生圃場率2.1%）。

5. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（発病果率0.1%、発生圃場率7.4%）。

6. ミナミキイロアザミウマ

平成29年3月16日付け病害虫発生予察防除情報第17号による。

7. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査（12筆）の結果、寄生葉率は1.8%（2.6%）、発生圃場率は41.7%（27.5%）であった。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.03%(0.4%)、発生圃場率は8.3%(21.9%)であった。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、果実での発生は認めず(発病果率0.3%)、発病葉率は0.7%(過去4ヵ年平均1.1%)、発生圃場率は25.0%(25.0%)であった。

3. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.3%(過去6ヵ年平均0.8%)、発生圃場率は16.7%(同20.8%)であった。

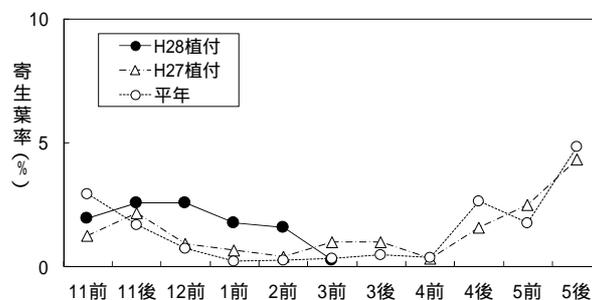


図 トマトのコナジラミ類 寄生葉率の推移

注) 平年はH22～27年の平均値

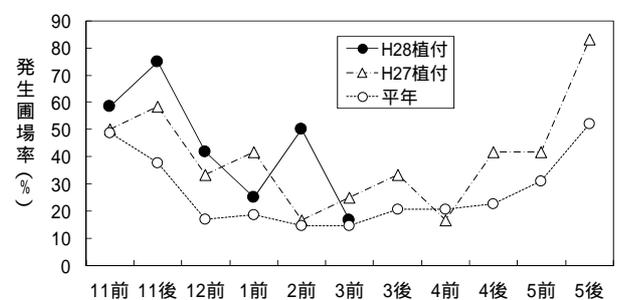


図 トマトのコナジラミ類 発生圃場率の推移

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(27筆)の結果、葉および果実での発生を認めなかった(発病株率0.0%、発病果率0.0%、発生圃場率2.3%)。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病率は0.1%(0.2%)、発生圃場率は14.8%(18.5%)であった。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.7%(0.3%)、発生圃場率は7.4%(7.0%)であった。

4. ハダニ類

平成29年2月1日付け病害虫発生予察注意報第6号を継続。

なお、その後の発生状況については、以下のとおりである。

(1) 発生状況

3月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は9.5%(6.1%)、発生圃場率は51.9%(40.5%)であった。

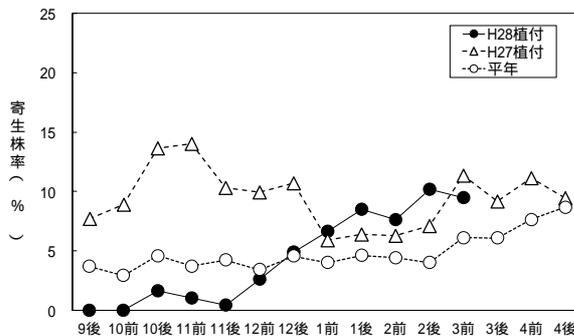


図 いちご ハダニ類 寄生株率の推移
平年：H18～H27の平均値(最大・小値除く)
ただし、12/下、1/下、2/下はH19～H27の平均値

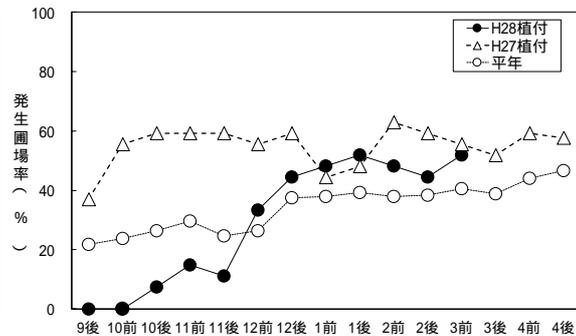


図 いちご ハダニ類 発生圃場率の推移
平年：H18～H27の平均値(最大・小値除く)
ただし、12/下、1/下、2/下はH19～H27の平均値

たまねぎ

1. 白色疫病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発生株率0.1%、発生圃場率8.3%)。

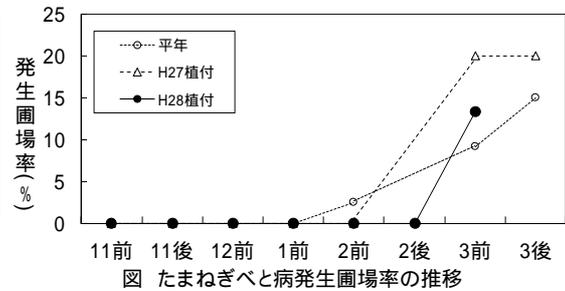
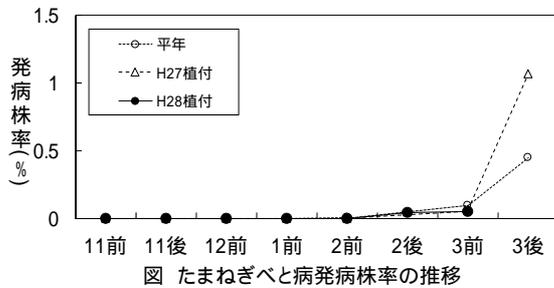
2. ベと病

平成29年2月24日付け病害虫発生予察注意報第4号を継続。

なお、その後の発生状況については、以下のとおりである。

(1) 発生状況

3月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発病株率は0.1%(0.1%)、発生圃場率は13.3%(9.2%)であった。



3. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は3.2%(22.0%)、発生圃場率は26.7%(68.3%)であった。

かんきつ

1. そうか病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(36筆)の結果、発病葉率(越冬病斑)は0.2%(0.0%)、発生圃場率は5.6%(1.7%)であった。

2. かいよう病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(36筆)の結果、発病葉率(越冬病斑)は0.1%(0.3%)、発生圃場率は2.8%(14.6%)であった。

3. ミカンハダニ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(36筆)の結果、寄生葉率は1.6%(2.5%)、発生圃場率は19.4%(32.1%)であった。

果樹共通

1. クワゴマダラヒトリ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

平成28年9月および10月に実施した産卵樹上(アカメガシワ、カラスザ

ンショウ)における幼虫巢の発生調査の結果、県内12地区で発生を認めなかった(平成17~26年の発生程度の平均値:0.3)。

※以下の基準により発生程度を達観で調査した。

調査基準:極多(5)、多(4)、中(3)、少(2)、極少(1)、無(0)

茶

1.カンザワハダニ

(1)予報内容

発生程度 やや少

(2)予報の根拠

3月上旬の巡回調査(16筆)の結果、発生を認めなかった(寄生葉率2.2%、発生圃場率35.3%)。

【参考】

気象

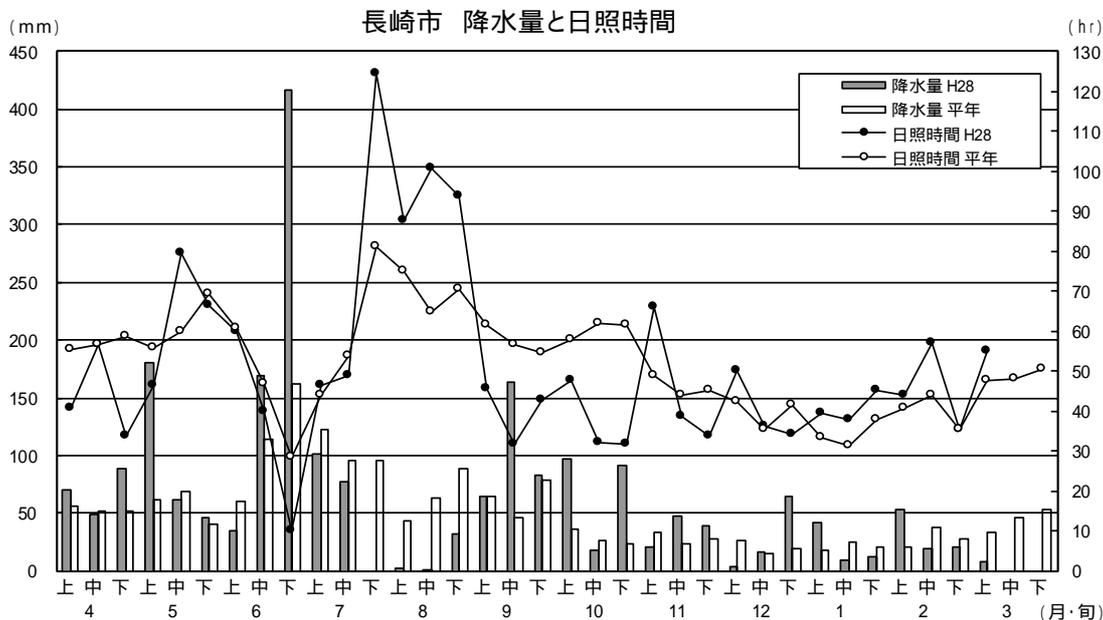
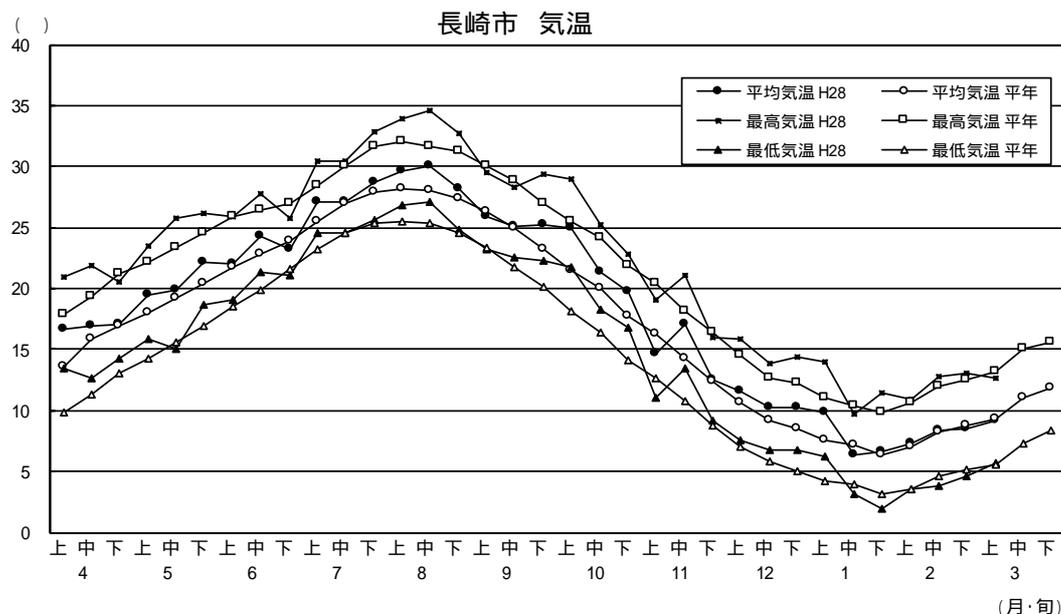
(平成29年3月16日発表 1か月予報 福岡管区气象台)

要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	30	40	30
降水量	50	30	20
日照時間	20	40	40

予報対象地域：九州北部地域

平成28年度の気象経過 (長崎地方气象台)



長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

